

イカルチドリ

Charadrius placidus

チドリ科・夏鳥(一部越冬)



撮影：叶内拓哉

イカルチドリ

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(葦原・樹林)
ワシタカ

名前の由来

コチドリより少し大きく強そうに見えることからこの名がついた。古くは「おほじゅん」「くびたま」とも呼ばれていた。チドリの語源はその鳴声からきたという説がある。漢字名：斑鳩千鳥、鶺鴒千鳥、*(かばね偏に鳥)千鳥

特定種

該当なし

形態的特徴

全長(くちばしの先から尾の先まで)21cm。くちばしと足が長く、飛ぶと翼に白っぽい帯がみえる。

生息環境・分布

河川の中流より上流で、砂礫の川原や中州に生息する。

分布：ユーラシア大陸極東部の中国中北部から日本列島に限られて繁殖分布し中国南部からミャンマーにかけて越冬する。

繁殖生態

繁殖期は3月～7月、なわばりを作る。つがいの形成や求愛、巣づくりの前などに、オスは地上にうずくまり、胸を地上につけ、足で砂をかき出す行動をしながらピッ、ピッ、

食性・他生物との関わり

地上や水面、水底の泥から主に昆虫類などを捕食する。天敵は猛禽類やキツネなど。

興味深い話

- 砂礫地の水辺やその周辺を走ったり歩いたり、また急速に走って急停止し、思いがけない方向にくちばしを突き出して、虫に不意打ちをくらわせて捕食する。
- 地上をジグザグに走ることもでき、この様子から酔ってフラフラ歩く事を「千鳥足」という。
- 繁殖期にはなわばりをつくる。オスどうしの対立の行動

類似種と見分け方

コチドリ。

コチドリは少し小さく、目の周りの金色がはっきりしていて、飛んでいる時、翼に白っぽい帯は出ない。

日本全国に分布する。

北海道全域の主に河川の中・下流部の河川敷に生息する。十勝地方では、河川中流部の氾濫原などの砂礫地で繁殖する。また少数が越冬する。

ピッ…と鳴いてメスを呼ぶという。

ふつう4個の卵を産む。抱卵日数は27日くらいで、3～4週間で独立。孵化後まもなく離巢し、親について歩く。

配慮事項

繁殖地として植生がほとんどないような礫地が必要である。

や脅しのディスプレイ(メスや他の個体に対する誇示行動)には、体を水平位にして、平行に走ったり、相互にジグザグに走る、あるいは相手に向かって走る等の行動がみられる。また、2～4羽が向き合って相手に対して立ちはだかるように体を起こし、下くちばしを引いて冠羽を起こし、爪先立ちになって睨み合うなどの行動もみられる。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
十勝出現期	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
本州以南の暖地(越冬期)	■	■	■	■	■					■	■	■

参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と溪谷社 1985 (1995 2版21刷)
「原色日本野鳥生態図鑑(水鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社

1995

「北海道鳥類目録改訂2版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理理学研究室 2000